

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
札幌医療秘書福祉 専門学校	昭和62年12月24日	中村 淳	〒060-0042 札幌市中央区大通西18丁目1-8 (電話) 011-641-0865
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	屋間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、学校教育法に基づき、医療従事者、介護福祉士、保育士等として各業界に従事しようとする者に必要な知識、技能を教授し、明日の医療業界や福祉業界、保育業界を担う人材を養成することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
医療秘書科	2 年	160人	320人
診療情報管理士科	3 年	40人	120人
医療事務科	1 年	60人	60人
くすりアドバイザー科	2 年	40人	80人
医療保育科	3 年	40人	120人
介護福祉科	2 年	60人	120人

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	
医療秘書科	・医療従事者として、受付対応、レセプト業務、看護補助、医師事務作業補助者等ができる知識を有する。 ・病院・クリニックにおいてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。
診療情報管理士科	・診療情報管理士認定資格を保持し、診療情報管理士としての基本的な知識と、情報活用に必要な高度なパソコンスキルを有する。 ・高いホスピタリティ・コミュニケーション力を有する。 ・チーム医療の中心的役割、及び、病院経営に貢献できる経営に関する知識を有する。
医療事務科	・医療従事者として、受付対応、レセプト業務等ができる知識を有する。 ・病院・クリニックにおいてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。
くすりアドバイザー科	登録販売者資格を取得し、ドラッグストア・薬局・薬店等、薬業界において、即戦力としてお客様・患者様対応が出来る知識・技術を有する
医療保育科	・保育士・幼稚園教諭の国家資格を保持し、且つ医療の専門的な知識を有し、保育・医療の現場において即戦力となる。 ・子ども保護者、同僚などの他者や社会と良好な関係を築く力を有し、的確なコミュニケーションを図ることができる。
介護福祉科	・生活歴や価値観が異なる相手の立場に立って共感でき、円滑なコミュニケーション力を持ち合わせた思いやりのある介護福祉士 ・‘生活’の連続性を捉え、科学的な分析を以て、尊厳のある暮らしと自立を支えることができる介護福祉士 ・多職種協働によるチームアプローチの必要性を理解し、リーダーシップをとることができる介護福祉士 ・人権擁護の視点、職業倫理を身に付けた介護福祉士

<取得可能な資格について>

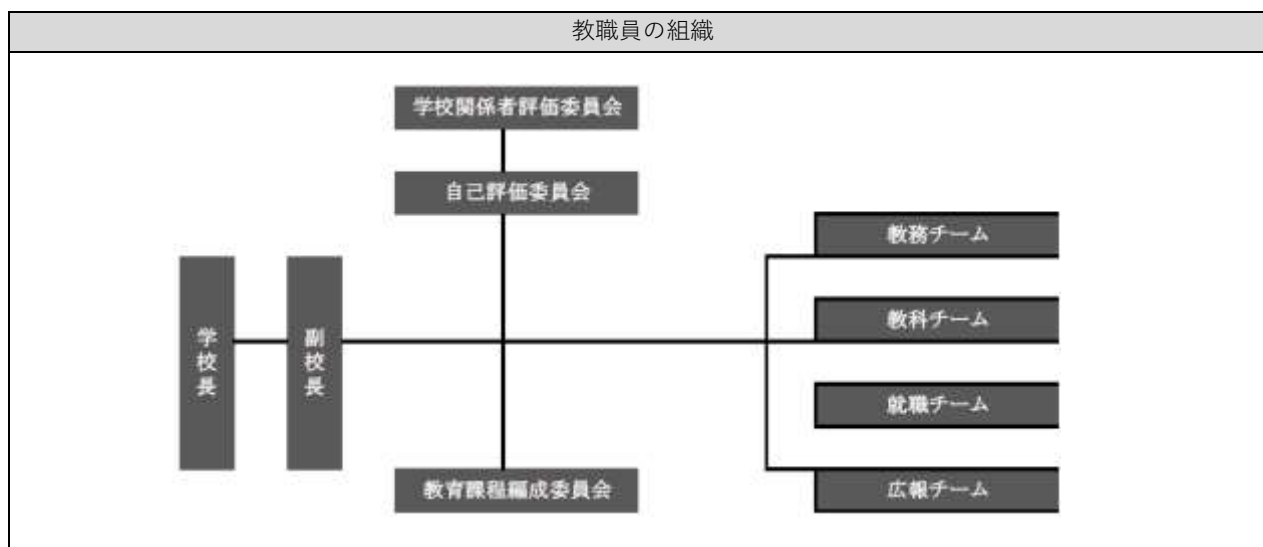
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-med/jobdata/skill_introduction.shtml
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-med/jobdata/jobdata.shtml
------	---

③教職員

専任教員	26
兼任教員	57
事務職員	6



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
堀口 恭弘	薬学	登録販売者・柔道整復師・鍼灸師 新川新道整形外科病院
松井 さおり	看護 介護	看護師免許 市立千歳市民病院
横尾 直美	幼稚園教諭 保育士	保育士・幼稚園教諭二種免許 (株)叶夢楼 西野にじのいろ保育園
安藤 美和	医療事務	診療報酬請求事務能力認定試験合格 中村記念病院
中谷 多江	医師事務	医療事務技能審査試験 恵佑会札幌病院

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-med/course/practice/
実習実技への取組	カリキュラムに則した現場実習を行い、目的に応じより実践的な教育機会としている。 <医療秘書科1年 医療機関実習Ⅰ> 1週間の見学実習を行う。早期に医療機関の現場を知ること、学内の学習以外にも必要な知識・力があるということを理解する。 <医療秘書科2年 医療機関実習Ⅱ> 3週間の体験実習を行う。学内で身につけた知識・スキルを現場で実践することで、自分たちが将来進むべき業界の理解と今後さらに身につけるべき知識を理解し、就職や実習終了後の学習につなげることを目的とする。 <診療情報管理士科2年 病院実習> 3週間の体験実習を行う。医療現場での診療録管理体制を知ること、学内の学習以外にも必要な知識や能力があることを理解する。また、自分たちが将来進むべき業界の理解と今後さらに身につけるべき知識を理解し、就職や実習終了後の学習につなげることを目的とする。 <くすりアドバイザー科1年 インターンシップ実習Ⅰ> <くすりアドバイザー科2年 インターンシップ実習Ⅱ> 登録販売者資格取得にあたり必要な実務経験（月80時間×24か月）を積むため、また、実習を通して、登録販売者に必要な接遇や技術を学ぶことを目的とする。 <医療保育科2年 保育実習（保育所）教育実習Ⅰ> 10日間の保育園での実習と2週間の幼稚園での実習を行う。学内で身につけた保育技術と知識を子どもたちとのやり取りの中で実践し、保育者としての立ち居振る舞いと子どもの状況に応じた柔軟な対応を学ぶ。 <医療保育科3年 保育実習Ⅰ（施設）、保育実習ⅡまたはⅢ、教育実習Ⅱ> 10日間の児童福祉施設での実習と10日間の保育園または児童福祉施設での実習、2週間の教育実習を行い、子どもの理解を深め、保育者の連携と保育現場に応じた臨機応変な対応を学ぶ機会とする。 <介護福祉科1年 介護実習Ⅰ（施設）> 訪問在宅・施設等における介護の実際を計45日間の実習で学ぶ。介護の実体験を通して人間の尊厳や介護に必要なからだのしくみなどの学習内容を統合させて、介護とは何かを理解・再確認し、それを実践する基礎的能力を習得する学習とすることを目的とする。 <介護福祉科2年 介護実習Ⅱ> 障がい者施設等における介護の実際を計30日間の実習で学ぶ。学習した知識や技術を総合して具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。また、多職種協働や関係機関との連携を通じて生活支援チームの一員としての介護福祉士の役割について理解する事を目的としている。 全ての実習開始前には学校と実習先との事前打ち合わせ、実習期間中は担当教員による訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていく。終了後には振り返りを実施し、今後の学校生活や就職に向けて、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-med/schoolguide/year.shtml
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応	
担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者と共有を図り、連携体制を整えている。また希望者や要支援者に対しては、カウンセリングを行えるよう、スクールカウンセラーを配置している。	

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/pdf/sapporo-med/guideline_2024/guideline_01.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-med/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---